

平成31年度 学校評価

愛知県立東海南高等学校

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの姿勢の整った生徒…学ぶことの内在的な価値（考え抜くこと、分かる・できるのプロセス）を大切にし、より高い進路実現を目指して粘り強くやり抜くことができる生徒の育成 ・ 社会性と人間性の豊かな生徒…社会の中で生き抜いていく能力（基本的な生活習慣、主体性、協働性、自己表現力、精神的な逞しさ）を有する生徒の育成
----------	---

分掌	項目	重点目標	具体的方策	留意事項
教務部	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力の育成をめざすための授業改善 ・ 校務支援システムの効率的な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「確かな学力」の育成をめざし、授業など生徒の学びの場を工夫する。 ・ さらに「学びへ向かう力」の育成へも重点をおき日々研鑽に努める。 ・ 校務支援システムの運用について、昨年度までの取組みを踏まえ、効率的な運用運用方法について検討し、適切な管理・運用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の発達段階に応じた指導計画に基づき、明確な到達目標を設定し、段階的・継続的な指導をすすめる。 ・ 校務支援システムの運用では、生徒情報の取り扱いについて他分掌と連携し、効率的な運用に努める。
総務部	防災教育等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育の充実 ・ 災害時における効果的な安否確認方法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災委員会を中心に、日常的に危機管理・安全意識を高揚する働きかけを行い、災害時に生徒自らが考え、行動できるような防災教育の充実を図る。 ・ 災害時の安否確認方法について、「災害用伝言ダイヤル」を含め、現実的かつ迅速な方法の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に防災委員会を開催し、校内のみならず校外においても、危機回避に関する意識の高揚を図る。 ・ 生徒間の日常的なネットワークを視野に入れ、現実的な安否確認方法を探り、その導入に向けた課題の改善に努める。
生徒指導部	生徒指導活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会性の育成 ・ いじめ防止対策の推進 ・ 環境美化も含めた生徒指導の推進 ・ 生徒会行事の自主的企画と運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身だしなみを整える、あいさつの励行、時間厳守（8時30分登校完了含む）、ルール遵守（交通安全含む）並びに場に応じた立ち居振る舞いができるように、継続的に適切な指導を行う。 ・ いじめや嫌がらせに関しては、本校の「いじめ防止学校基本方針」に基づき、組織的に対応する。 ・ 私物の整頓や清掃時には窓ガラス磨きや隅まできれいにさせることを通して清々しい場を整え、穏やかな環境を保持する。 ・ 生徒会の運営を支援し、自主自律した生徒の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の校門指導やホームルーム等のさまざまな指導の機会を捉え、組織的に、社会性を育成する指導を重ねる。生徒に対して個別指導をした際は、必ず、担任・学年・生徒指導部においてその情報を共有し、指導の公正さと適切さを検討する。 ・ 特に、交通安全、身だしなみ、スマートフォンの適切な使用など、教員間の共通した認識・指導の基準づくりに努める。 ・ 「いじめや嫌がらせ・体罰に関する調査」の結果を基に、生徒の安心・安全を保障することを第一に対応する。 ・ 保健部と連携し、清掃の徹底と充実を図る。 ・ 部活動との両立ができるような生徒会活動を考え、生徒会役員を務めやすい環境を整備する。また、行事後の教員及び生徒へのアンケート結果を活用し、行事の改善を図る。
進路指導部	（キャリア）進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の充実と学習環境の整備 ・ 大学入試改革に向けた対策の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒自らの進路目標を早期に設定できるように、適切な情報提供に努める。進路講演会で生徒の職業観や勤労観を高めさせたり、補習や土曜学習会において学習意欲を高めたりするなど、行事を活用しながら、学びの姿勢の整った生徒の育成をする。 ・ スタディーサポート結果を踏まえ、生徒の弱点分野や学習習慣における課題等を把握し、生徒自らその改善に取り組めるような学習環境の整備に努める。 ・ 大学入試改革について、その情報収集に努め、適切な対策を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路情報の提供では、学年と連携し進路的な行事と関連付けるなど効果的な方策を工夫する。 ・ スタディーサポート結果については、教員及び生徒に向けて報告会を実施し、学習習慣の見直しやキャリア教育の一助として活用する。保護者向けの通信を発行し、保護者の協力が得られるように努める。 ・ 大学入試改革について、講演会やその研究会等へ参加し、多面的多角的な視点の情報の収集に努める。
保健部	安全教育、環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康観察の徹底及び傷病発生防止 ・ 教育相談体制の充実 ・ 校内清掃の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ほけんだより」において、傷病予防等を扱い、注意喚起する。 ・ HR担任による健康観察の徹底を図るとともに、生徒の些細な異変に気付いたら、学年会、教科会、校務委員会などでその生徒情報・状況を共有する。 ・ 全校集会などを通して、生徒に清掃の徹底を促すとともに、各清掃担当教員の清掃指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ほけんだより」の作成では、生徒保健委員を参加させ、生徒の意識の高揚を図る。 ・ 教育相談においては、生徒の状況情報の収集と教員間でその共有を密に行い、適切に対応する。その際、個人情報の取扱には十分留意する。 ・ 清掃道具のチェックなど、清掃道具の十分な確保に努めるとともに、清掃場所の適切な清掃方法についての伝達に努める。
情報研修部	図書管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ hirobaTの運用と情報資産の適正な管理 ・ 蔵書データの入力継続とNoahの運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ hiroba T2とhiroba Tで管理してきた情報資産を、hiroba Tに一本化する。また、不具合が生じた場合はその都度修正する。 ・ 蔵書データの入力については、入力項目を必要最小限に絞ることによりスピードアップを図る。 ・ 貸出業務にNoahを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックアップスケジュールを設定するなど、情報資産の管理強化を図る。 ・ 情報化推進委員会などの機会に、情報セキュリティの実施手順について周知する。 ・ データ入力については、情報研修部と図書委員で手分けをし計画的に進める。
1年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> ① 明るく元気に充実した高校生活を送る。 ② 自ら考え行動する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校行事、部活動などを通して帰属意識の向上を図る。 ② 自学自習の習慣を確立し、進路目標に向けて着実に努力をできるようにする。 ③ 授業を充実させ、生徒教員ともに自主的に学ぶ場としての学年を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒教員が共に学び個性と能力に応じた教育を効果的に実現できる方法を構築する。 ② けじめある行動のもと、明るく伸び伸びと高校生活を送れるように見守る。
2年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> ① 自発的な学習習慣の確立 ② 家庭学習の充実、課題提出の徹底 ③ 進路目標の明確化 ④ 充実感や感動の体験 ⑤ 向上心・意欲をもたせる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 予習・復習をきちんとした上で授業に取り組みさせる。 ② ただやるだけでは無く、取り組み方を改善させる。 ③ 志望校の検討や受験方式の確認を行う。 ④ 中堅学年としての自覚をもちながら学校行事に取り組ませる。 ⑤ ①～④を実現することで達成感を得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員間で密に連携をとり、生徒の細やかな変化に気づける体制をつくる。 ・ 進路に関する情報は、業者などの外部からの情報も有効に活用する。
3年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> ① 最高学年としての自覚をもたせ、人間性を高めさせる ② 学力を高めるための計画的継続的な学習に取り組ませる ③ 進路希望の実現を通して、ありがたい自分に向けての自己実現を図らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ルール、マナー、時間を守らせ、集団の中での自分のあるべき姿を考えさせる。 ② 高い進路目標を持たせ、安易に妥協させない。その目標に向けての学習計画を立てさせる。 ③ 成績不振や進路について悩む生徒への連携した対応をとる。 ④ 学校行事にはクラス全体で主体的に取り組ませ、達成感や充実感を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的で継続的な指導を考える。 ・ 教員間の情報交換を密にする。
安全衛生委員会	に長時間障害防健康労働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な業務遂行の奨励と環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在校時間等の状況記録から、1ヶ月の時間外労働が80時間を越える教職員について、面接指導希望の有無を確認し、健康障害防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が気軽に相談や情報交換できる職場の雰囲気づくり。 ・ 校務支援システムの効果的な活用を具現化する。 ・ 勤務時間の割振や年次休暇の取得を促す。
止いじめ委員会	基いづく方取針防組に止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織のないじめの未然防止や早期発見の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。 ・ 全ての教員が、いじめに対する共通理解をもち、適切に対応できる力を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の言動がいじめを助長することがないように、指導の在り方に細心の注意を払う。
安全衛生委員会	適勤正な時管問の理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の適正化と効率化 ・ メリハリを付けた働き方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在校時間等の状況記録を活用して業務の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの保持に努める。 ・ 業務内容の点検及び精選を図る。 ・ 学校施設時間について、20:00（定期考査中及び長期休業中は18:00）と設定する。 ・ 年次休暇について、年5日以上取得を義務づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の年次休暇の計画的な取得や適切に勤務時間の割振を執行するよう促進する。